

## 9 月定例記者懇談会

令和 8 年 9 月 25 日（金）

11 時 00 分～11 時 40 分 203 会議室

|                                                        |
|--------------------------------------------------------|
| 出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞<br>事務局：唐澤、栗原、荻原、濱 |
|--------------------------------------------------------|

### 町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

### 町の主なトピックス（担当課 P R 分）

○箕輪町物価高騰対策 農業資材購入費補助金について（みどりの戦略課農業振興係）

○気候変動に備える分科会（最終回）について（総務課ゼロカーボン推進係）

○人権尊重のまちづくり講演会 in みのわについて（文化スポーツ課生涯学習係）

○もみじ湖紅葉祭りについて（商工観光課観光係）

○箕輪町のスポーツの秋について（文化スポーツ課、みのわの魅力発信室）

○秋の博物館イベントについて（文化スポーツ課博物館）

### 町長コメント

# 1 箕輪町物価高騰対策 農業資材購入費補助金について (みどりの戦略課農業振興係)

## ○概要

別添資料（p2）にて説明

- ・物価高騰の影響による農業資材の価格高騰に対し、経営を圧迫されている農業者の農業資材費の一部を助成し、経営支援を図る。
- ・補助額は諸材料費の 20%、上限額が 10 万円で、令和 7 年の税申告の「諸材料費」が 2 万円以上等、要件を満たす方が対象。
- ・申請期間は令和 8 年 10 月 1 日～12 月 28 日まで。

(町長)

今回の補助金は、令和 7 年度の確定申告に基づき、令和 7 年度にどのくらい経費がかかったかということを想定しています。現状は、令和 8 年度も農家の皆さんは昨年度とほぼ同じ状況だと思いますので、証明書類として令和 7 年度の申告に基づいた内容で判断させていただきます。

何より問題は、米の価格概算金が決まり、農家の皆さんにどういう影響を及ぼすかということが本当に心配でありまして、これからどんな政策が出てくるのか注視しなければいけないと思います。そうは言っても、価格が 40%下がるということは農家にとっては相当影響があり、今後の農業経営の継続も含めて非常に課題になると思います。昨年並みということは言いませんが、一定の補填、また、次の耕作ができるような米の価格は国で試算して出しているわけですので、その間の差額をどうしていくかということが政策課題だと思っています。

その点を見据えながら、町で行えることは少ないと思いますが、考えていかなければならないと思っています。

# 2 気候変動に備える分科会（最終回）について (総務課ゼロカーボン推進係)

## ○概要

別添資料（p3～5）にて説明

- ・10 月 17 日（土）13:30～16:30 産業支援センターみのわ 2 階研修室
- ・分科会の委員から提案された気候変動に対する取組案について、町として推進すべき取組みを最終検討し、分科会としての成果をまとめる。

(町長)

気候変動に備える分科会だけが全てではありません。町全体の取組みとして 2030 年までに CO<sub>2</sub> の 60%削減を目指す必要がありますが、それと合わせて、気候変動そのものへの備えを進め

ていかなければなりません。昨今の災害や農業被害、自然環境の破壊が進む中で、我々は何をしたらいいのかというところを、分科会を通して町民の皆さんの生の声が出てきているということは、非常に中身が濃いと取組みだと思っています。

この点について、国の環境保全研究所の方で、現在の手法は全国初だと言っていたと思いますが、それ自体は、私はあまりたいしたことだと思いません。分科会で出された意見の投票が終わって結果が出ていますので、例えば、農作物の栽培方法を変えたいとか作物を変えることがよいのではないかとといったことが1番なんですけど、それに対して、我々行政が施策を付加できるかどうかということを10月までに検討していきます。こういったことを町民目線で言われることで、町民自身も対応しなければいけないとか、変わるということが大切であるとか、町の長所を生かして新しいことをしていくことがよいことだとか、そういったことまで議論が進んでいるのは、町とすればありがたいと思っています。ですので、推進体制、または今の施策の状況の説明がありましたが、町として非常に注目をしていると思っていただいて構わないと思います。

また、先日、法政大学の茅野教授が箕輪町のゼロカーボンの取り組みについて、ゼミの学生さんと一緒にヒアリングを行いました。なぜ、箕輪町がこれだけが取り組んできたのかという内容のヒアリングになったわけですが、一自治体として、どこまで取り組むべきかという考え方はあると思いますが、率先してやるのがSDGsの町にふさわしかったり、持続可能な町にふさわしいという意味合いでやってきましたので、今後続けてもらいたいと思っています。何より専門家の皆さん、または学生さん、大学生が協力をしてきていて、当町には大学のような機関がないので、非常にありがたいと思っています。

### 3 人権尊重のまちづくり講演会 in みのわについて (文化スポーツ課生涯学習係)

#### ○概要

別添資料(p6)にて説明

- ・11月21日(土) 13:30～15:10 箕輪町文化センターホール 全席指定で開催。
- ・俳優でタレントの副島淳さんによる、「ちがいを楽しむ」というテーマの講演会が行われる。

### 4 もみじ湖紅葉祭りについて(商工観光課観光係)

#### ○概要

別添資料(p7)にて説明

- ・10月31日(土)～11月15日(日)にもみじ湖紅葉祭りを開催。

- ・ 11 月 3・7・8・14・15 日がマイカー規制日。10 月 1 日から臨時駐車場の予約開始。  
箕輪町民の方は町民優待ということで、免許証等の提示で臨時駐車場が利用できる。
- ・ 人気のライトアップは期間中午後 6 時～9 時まで実施。

(記者)

令和 7 年度の来場者数はわかりますか。

(担当)

昨年度は 64,000 人の来場者数でした。

## 5 箕輪町のスポーツの秋について (文化スポーツ課、みのわの魅力発信室)

### ○概要

別添資料 (p8～12) にて説明

<国スポ激励会>

- ・ 9 月 28 日 (月) 午後 6 時 30 分～7 時 町長応接にて実施

<松本山雅ホームタウンデー>

- ・ 10 月 3 日 (土) 午前 10 時 30 分～午後 1 時 30 分 サンプロアルウィン周辺で実施

<みのわエンジョイモルック大会 2026>

- ・ 10 月 10 日 (土) 午後 1 時～4 時 15 分 ながたドームで開催

<第 20 箕輪町民ゴルフ大会・第 15 回町民マレットゴルフ大会>

- ・ (ゴルフ) 10 月 17 日 (土) 信州伊那国際ゴルフクラブで開催
- ・ (マレットゴルフ) 10 月 17 日 (土) ながたの森マレットゴルフ場で開催

## 6 秋の博物館イベントについて (文化スポーツ課博物館)

### ○概要

別添資料 (p13～19) にて説明

<「平家物語図屏風」(高精細複製品) がやってきた！>

- ・ 10 月 3 日 (土) ～12 日 (月) 町郷土博物館 美術展実室に展示されます。

<令和 8 年度特別展 身近で奥深い古絵図の世界>

- ・ 10 月 24 日 (土) ～11 月 23 日 (月) 町郷土博物館 美術展実室・歴史展示室に展示されます。

## ○町長コメント

### ①赤そばの里について

赤そばの里がオープンし、ほぼ満開に近い状況になってきております。雨模様の日が続いていますが、今年は、丈は大きく伸びていないものの、生育は順調で、色づきも順調にしております。まもなくピンクの絨毯になると思いますので、PRをお願いできたらありがたく思います。

### ②町内一周駅伝について

町内一周駅伝が開催され、それぞれの皆さんにご協力いただきまして感謝いたします。文字どおり町内を一周する駅伝は、長野県内でもほとんど例がないのではと思います。一定の場所を周回してタスキを繋ぐというような駅伝は何箇所かありますが、町内全体を回り、全ての区を通過する駅伝はないと思います。このような駅伝を 67 回続けてきて、参加する選手だけでも 500 人を超え、それを地域が支え、練習から応援まで関わっていただいています。少子化の中で選手の発掘は大変だと思いますが、続けてきてもらいました。この大会は、町の駅伝のベースになっている大会でありまして、今後継続していくことが非常に難しくなっていることも承知していますが、なんとか続けていっていただければと思います。各区の人口にはかなり差があり、力の差も大きくなってきていることから、これからの大会運営には難しさもあると感じています。

### ③熊本地震の派遣活動について

熊本地震に関連し、町職員の派遣に加え、防災士ネットワークの皆さんにも現地でボランティア活動等を行っていただきました。町に何か新しい発想をというようなこともこれから考えていく必要があると考えています。

派遣された方の感想を聞きますと、ボランティアセンターの運営（受援体制）を作るという点で、箕輪町はまだ十分でないので、受援体制を町の職員が行うのか、ボランティアでやるのか、企業にお願いをするのか等々含めて対応しなければならないということを言われておりました。

もう 1 つ、現地では、住宅の復旧が進められており、家財の搬出やゴミ置き場への運搬、土砂が流入した場合は土砂の撤去等をしている中で、高齢者の被災住宅の復旧がなかなか進まないということがあるようです。これは、高齢者は自分で対応ができないということが 1 点と、高齢者が自ら声をあげられず、行政やボランティアへ声が伝わらないということがあって、高齢者の住宅がなかなか進んでいない現状があったと言われました。この点について、考えていく必要があると感じました。

もう 1 点は、家屋の倒壊が非常に多いという報告がありました。昭和 55 年以前の古い住宅の倒壊が多いのはもちろんですが、現地で感じたことは家具の固定がされておらず、住宅の中が大

変な状況になっているところが非常に多かったということです。それにより命の危険にさらされている方が多いということもあって、家具の固定については、今までも取り組んできましたが、箕輪町でも十分に固定されていなのではないかという指摘もいただいております。

そういった話を受け、熊本の地域での活動や被災地での活動を私たちの町の取組みに反映させていかなければいけないと思っています。特に、防災士ネットワークの皆さんには大変ご協力をいただいておりますので、次の予算にも反映をしていただきたいと思いますし、今週、みのわ B A S E で防災に関わるイベントがありますので、そういったところをまたご覧になっていただければありがたいと思います。

(記者) もみじ湖紅葉祭りを例年より 1 週間遅らせることを踏まえて、期待も込めて一言メッセージをお願いします。

(町長) 今年も、もみじ湖の評判は非常に高いと感じています。以前のように、じゃらんでおすすめスポット全国 1 位がずっと続いているわけではないですが、一定の位置づけはされていて、観光事業者からの相談も多く寄せられています。

紅葉時期の現状を見ますと、以前は 10 月最終週から 11 月第 2 週頃には紅葉が終わってしまう状況でしたが、今はそういう状況ではなく、今回も紅葉の見ごろに合わせ交通規制をかけるのは 11 月 3 日からにしました。これによって、紅葉の満開の時期に交通規制がかかる訳ですが、規制をかけてお金を払って来ていただいても、十分楽しめる状況にあるという判断をしましたので、大勢の皆さんに来ていただきたいと思います。また、規制をかけたこともあって、平日にお越しいただくお客様もいて、平日と休日ではほぼ平均的に来ていただけるようになっているので、あまり渋滞が起きないのではないかと考えています。ですので、気軽に来ていただきたいと思います。

町民の皆さんについては、モミジを植えたのは町民ですので、町民の方が見ることはできないようなお祭りではいけないと思っています。町民優待ということも今回もさせていただきますので、町民の皆さんも混むのが嫌だから行かないという人が多いですが、そういったことのないように PR はしていきたいと思っています。